

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズステーションあいの（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日 ~ 令和7年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14名	(回答者数)	14名
○従業者評価実施期間	令和7年9月10 日 ~ 令和7年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月25日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人の運動会やフェスタなどの行事で、利用児のご家族や他事業所、地域の方等と関わり交流ができている	・他事業所やご家族へは早めの声掛けや協力依頼を心掛け、お仕事の都合や行事の調整などをお願いしている	・毎年同じ時期に開催することで、恒例行事として定着させ、多くの方に参加していただけるようにしていく ・事前準備の時間を確保し、余裕をもって準備できるようしていく
2	・土曜日や祝日、長期休暇時は公共機関の利用や外出など様々な社会体験ができている	・各行事の日程や大まかな内容を計画した後は、各担当で細かな内容を決定し、職員全体で協力して準備ができている	・毎月恒例の行事に加え、季節に応じた外出やイベントへの参加など様々な体験ができるよう情報収集に努める
3	・敷地内に遊具で遊べるスペースがあり、外遊びができる ・児童が取り組めるカードゲームなどの種類が増え、室内での遊びの幅が広がっている	・屋外で思い切り走ったり、虫探しなどの自然体験も安全に配慮して行っている ・遊びの中で思考力・勝負事での心理面での療育も行えている	・石拾いや草取り等児童と一緒にを行い、安全への意識付けと管理の徹底を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・長期休暇時など活動のスペースが足りず、環境設定が難しい	・多機能事業所でもあることから共有スペースも多く、不便と感じる	・近隣の公共施設や社会資源を活用することで不便さを軽減していく
2	・車椅子の児童が横になれるようなスペースやベッド等がなく安全面に不安がある	・障害の特性が様々であり、全てにおいて対応できる環境を整えることはできない	・多機能事業所でもあることから、使用していない時間帯や場所を工夫して使用できるようにしていく
3	・ご家族に対してのペアレントトレーニングやご家族も参加できる研修会や情報提供の機会が少ない	・運動会やフェスタ等ご家族が参加される行事はあるものの研修会などは行えていない	・年間行事計画の中で計画立案し、年に1度のベースでも研修を受けられるようにしたい

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	キッズステーションあいの（放課後等デイサービス）
------	--------------------------

公表日 令和7年 11月 25日

利用児童数 14名

回収数 14名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	1	0	0		
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	1	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	1	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	0	0	6		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	0	0	0		
保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	0	3		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	14	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	1	3	運動会などありますが、兄弟児などの相手などで、他の保護者と話す機会がないです	開催が遅くなってしまい、申し訳ありません。今年度は10月末に「親子クッキング」と保護者様同士の「茶話会」を予定しております

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	0	0	2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	0	0	毎日楽しく通所できており、嬉しく思います	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	キッズステーションあいの（放課後等デイサービス）	公表日	令和7年 11月 25日	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・以前より机上で遊ぶ児童が増え、マット上での遊び方や過ごしが変わってきて良かつたと感じる ・学校休業日については児発時などスペースが不十分と感じる
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・対策はとられているが、蟻に効かず、児童や職員が噛まれることがある
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・個別支援・クールダウン等、必要に応じて相談室などを使用して対応できている
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・全職員が参画しているとは言えない
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・「親子クッキング」などの活動機会も設けている
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・活動時の服装や休憩時間の取り方など以前より改善されていると感じる
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	
適切な支	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1		・少しマンネリ化していると感じる部分もある
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0		・体育館活動や外出等集団での活動も取り入れているが、レクリエーションが時々できると良いと感じる
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・昼礼後、その日の打ち合わせや申し送り、気づきを話す時間を設けている	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・その日のうちの振り返りはできないため、翌日の昼礼後に実施し、記録を残し共有している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・未就学児時、児童発達支援を利用していた児童については情報共有できている	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・要望があれば行っている	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	5	2	・法人内運動会で他事業所の子ども達との交流ができる。今後も続けていきたい。 ・雲仙市内や諫早市でのボッチャ大会にも参加している	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・保護者が迎えに来られた際に伝えることができている	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・10月末「親子クッキング」後に茶話会を実施予定	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	3		・今年度は「親子クッキング」「茶話会」「運動会」を実施予定している。今後は機会を増やしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・インスタグラムや広報誌、「くまの子通信」で発信している	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	・春に開催したフェスタには民生委員の方にも来ていただいた	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・先日の地震発生時、子ども達は落ち着いていたが、自身の動きの優先順位など、学習の必要性を感じた	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		・てんかん発作時の対応について、定期的に職員間で確認する機会があれば安心である
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2	・現在、対象者はなし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットは大きな事故につなげない為に大切だと思うので、小さな気づきでも周知していきたい	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		